

教科の目標

- 1 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 2 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 3 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点・方法

- 1 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 2 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読みこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 3 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

- ・授業へ取り組む姿勢や授業を深め広げる発言など意欲的な姿勢。
- ・作文や感想文など。
- ・提出物、小テスト、暗唱など。
- ・定期テストなどで総合的に評価する。

特色ある学習方法

- ・話し合い活動を積極的に行う。
- ・教え合い活動を積極的に行う。
- ・スピーチや発表を積極的に行う。
- ・古典の暗唱を行う。
- ・筆ペンで行書に慣れる。

	学習すること	学習のねらい
一学期	<p>1 「広がる学びへ」</p> <p>○いろいろな文章に触れ、言葉の豊かさに気づく。</p> <p>2 「多様な視点から」</p> <p>○文章の構成や展開の仕方に注意して、内容を理解する。</p> <p>○豊かな言葉</p> <p>3 「言葉と向き合う」</p> <p>○多様な方法で集めた情報を比べ、自分の考えをまとめる。</p> <p>書写（硬筆）</p>	<p>・言葉の表現の特徴に注意し、感想をもちながら読む。</p> <p>・登場人物の言動や心情に注意し、作品を読み取る。</p> <p>・漢字の理解を深める。</p> <p>・四季の捉え方や作品のものの見方・感じ方に触れる。</p> <p>・目的や相手に応じて書く、話す、聞く。</p> <p>・情報の伝え方に関する文章を読み、自分の考えをもつ。</p> <p>・自立語を理解する。</p> <p>・読書に親しむ。</p>
二学期	<p>4 「人間のきずな」</p> <p>○描写や例示などの効果に注意して、読みを深める。</p> <p>5 「論理を捉えて」</p> <p>○立場と根拠を明確にした説得力のある表現を学ぶ。</p> <p>6 「いにしへの心を訪ねる」</p> <p>○昔の人のものの見方や考え方に触れ、古典に親しむ。</p> <p>7 「価値を語る」</p> <p>○観点をもとに比較し、構成や表現の効果を考える。</p> <p>書写（書き初め）</p>	<p>・表現に即して優しさや温かさなどを読み味わう。</p> <p>・人柄や心情を読み取る。</p> <p>・敬語表現の理解を深める。</p> <p>・気持ちや要件を効果的に伝える手紙を書く。</p> <p>・相手の立場を尊重し、自分の意見と比較しながら話し合う。</p> <p>漢字を正しく読み選ぶ。</p> <p>・文章の表現の工夫について、自分の意見をもつ</p> <p>・古典の世界を楽しむ。</p> <p>・情景や心情を読み取る。</p> <p>・自分の立場を決め、意見文を書く。</p> <p>・根拠を示し、意見をもつ。</p> <p>・用言の活用について、理解する。</p>
三学期	<p>8 「表現を見つめる」</p> <p>○多様な表現に触れ、自分の経験と重ねる。</p>	<p>・人物の生き方や、考え方について、自分の考えを持つ。</p> <p>・視点を定めて文体を工夫し、自分について書く。</p> <p>・付属語について理解する。</p> <p>・方言と共通語。</p>